

渡網記念ギャラリー企画展

「しかけて知りたい生きもの展」開催について

本のページは2次元で、平らで動きません。しかし、多層的な構造や動きまで再現しようと挑戦した本がしかけ絵本です。本を開くと驚くほど多層的な世界が広がり、閉じると元の形に収まります。中には、光るもの、音を出すもの、しかけの下にしかけを施し、紙の限界に挑戦したような本もあります。

今回は宇宙の始まりから恐竜の進化、現在の生き物の姿を本や切り絵で紹介しています。宇宙の始まりにも様々な説があります。恐竜も約200年前に名付けられた「ダイナソー」(恐ろしいトカゲの意)から、近年化石が発見され現在の鳥の祖先とされる「羽毛恐竜」まで驚くような変化を遂げています。現在生きている生きものたちにも、まだまだ秘密が隠されています。

本企画展が本や生きものに関心を持ち、調べるきっかけになれば幸いです。

令和4年7月21日
宇佐市民図書館
渡網記念ギャラリー

